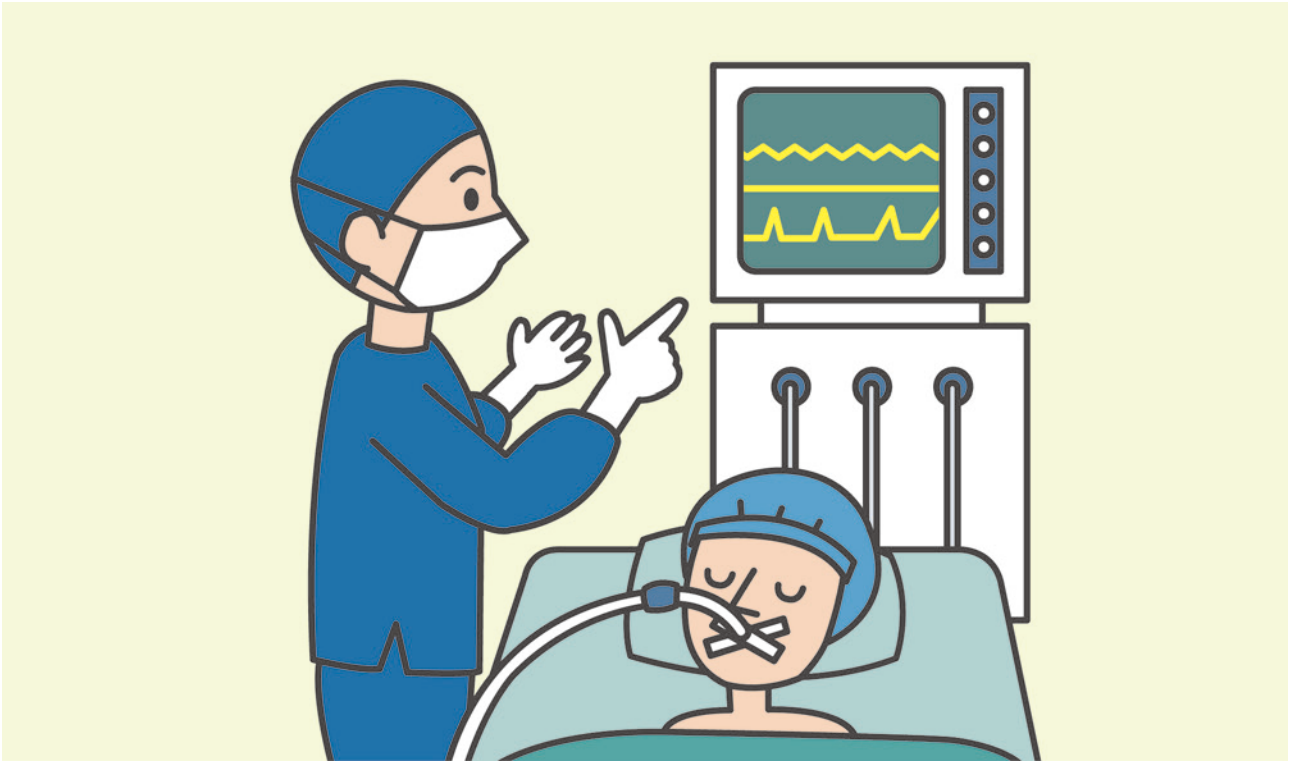
全身麻酔を受ける患者さんへ



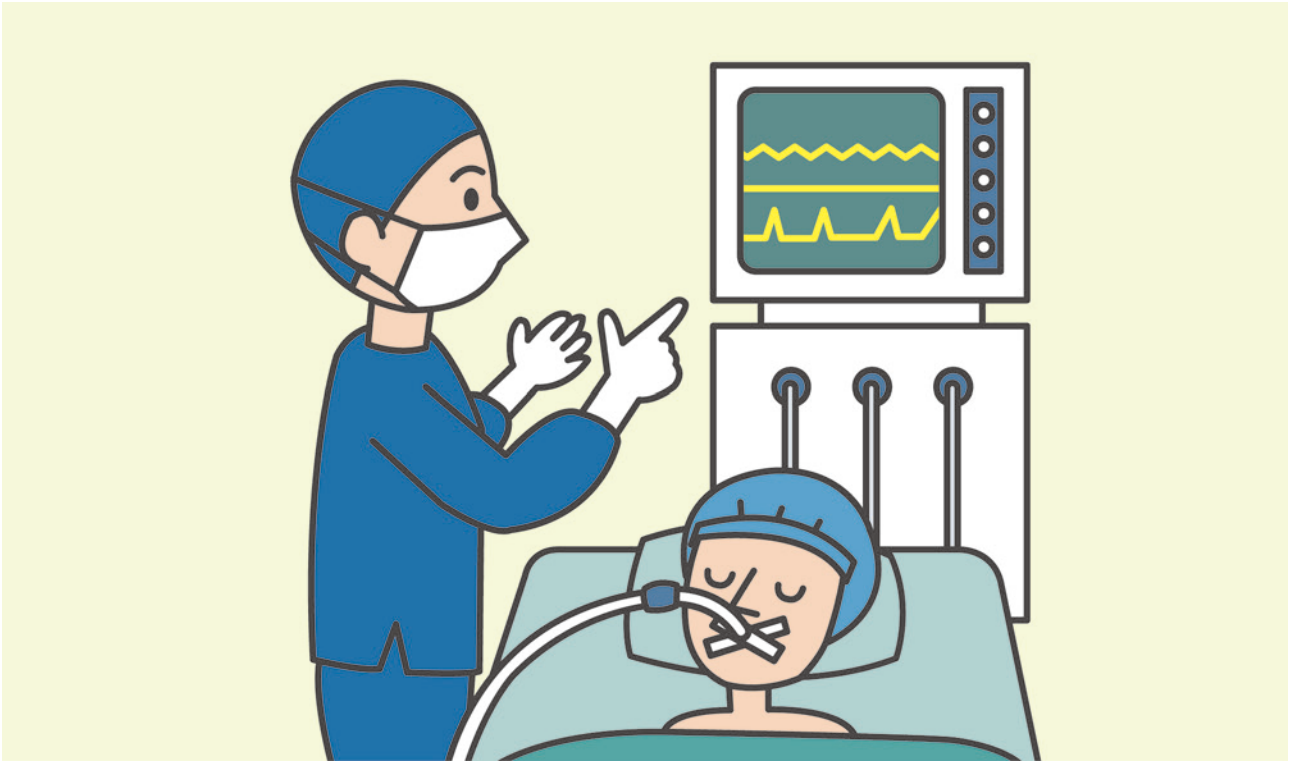
社会医療法人友愛会
友愛医療センター

麻酔科

全身麻酔の概要

全身麻酔って？

- 苦痛なく手術を受けていただけるよう、痛み止めや眠くなる薬を点滴投与します。
- 手術中に目覚めることはありません。



手術中の処置

- 全身麻酔中は自分で呼吸ができなくなるので、チューブを口から入れ、人工的に呼吸ができるようにします。

- 手術によっては、尿道カテーテルを挿入することがあります。

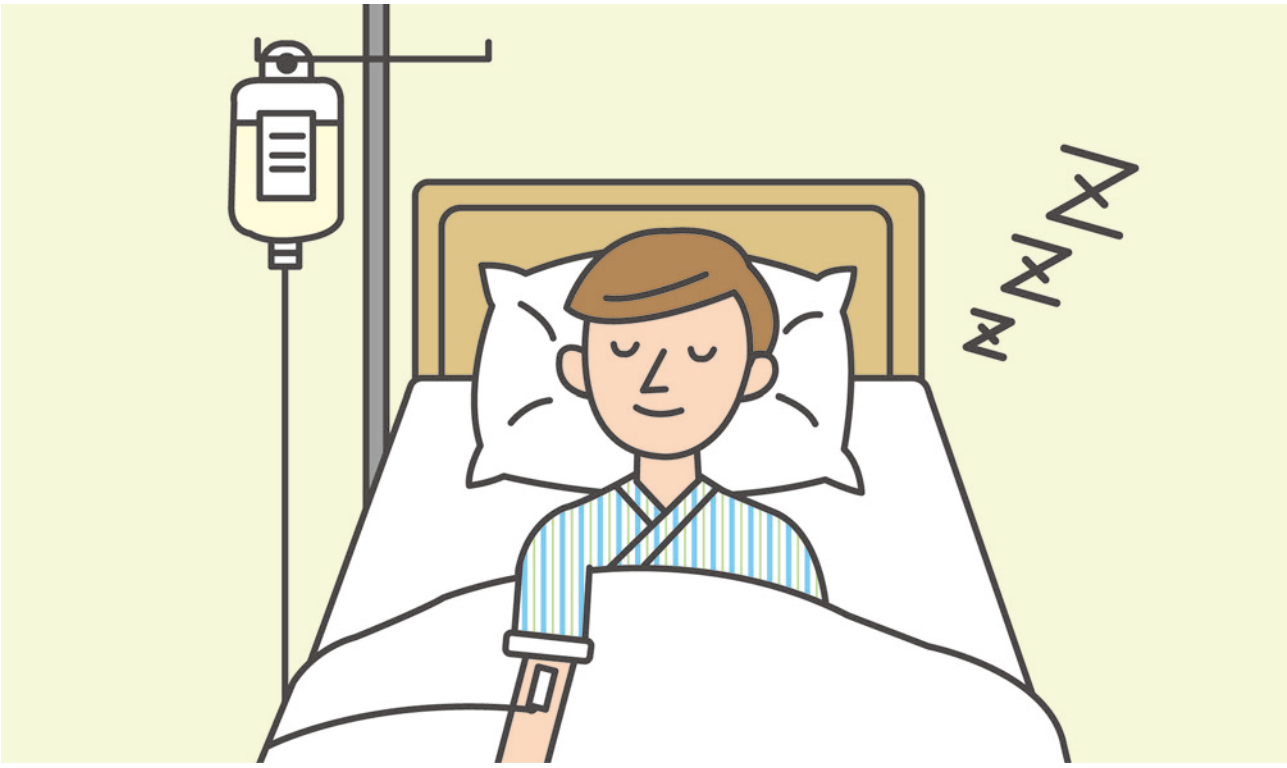
手術中の意識

●麻酔から覚醒した時には、手術は終わっています。

手術後の対応

- 手術後は、しっかり目が覚めるまでベッドで安静にしてください。

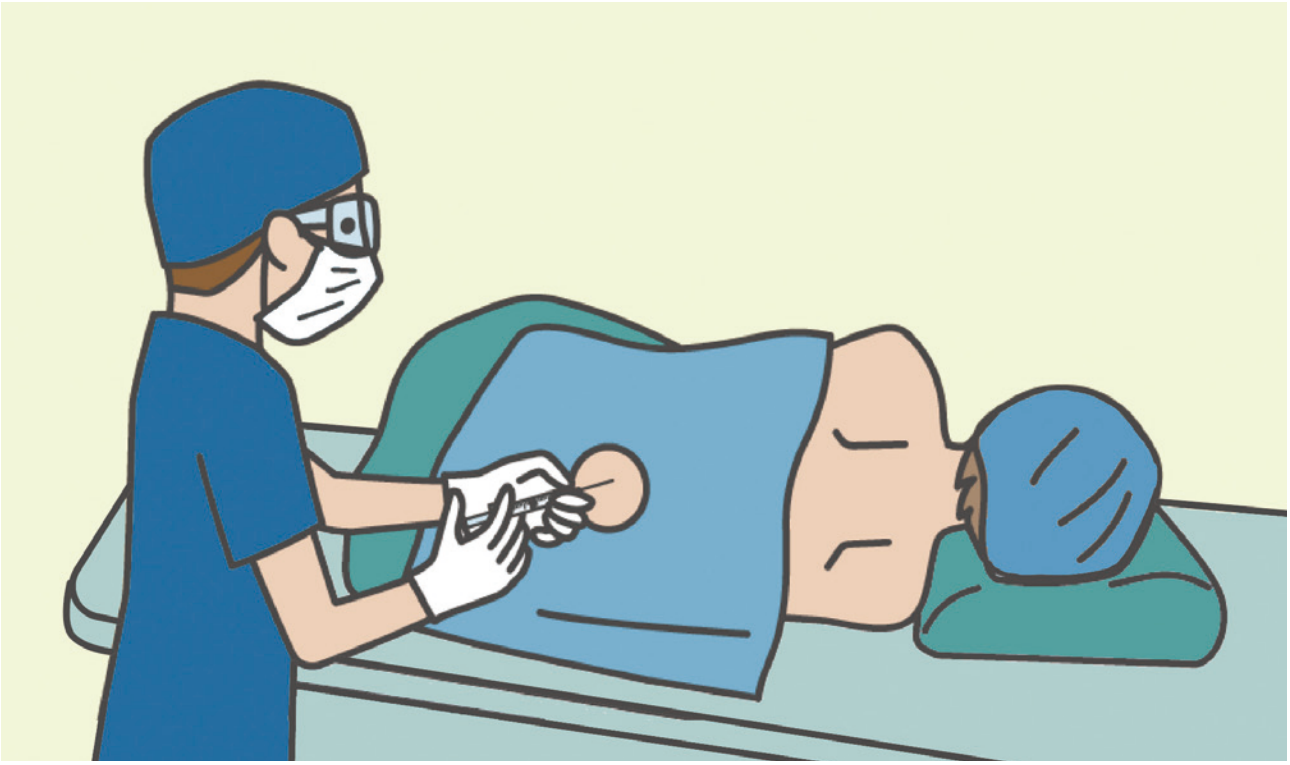
- 消化器の手術でない場合、手術後に水を飲んでむせることがなければ、手術当日から食事ができる場合もあります。



手術後の
痛み止めについて

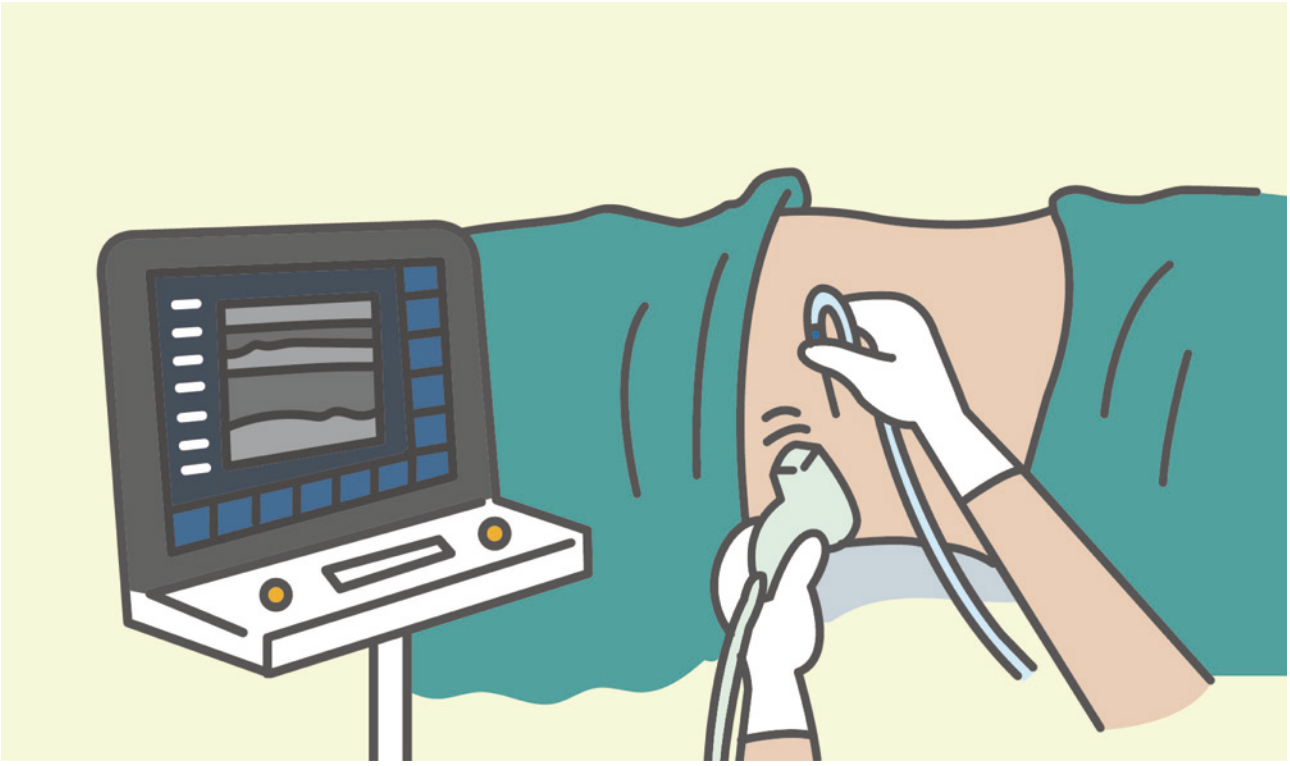
硬膜外麻酔

- 手術が始まる前に、背中に痛み止めの注射をすることがあります。この場合、術後に目が覚めた後も、管を通して痛み止めが流れています。



神経ブロック

●超音波で腕やお腹の中を見ながら、神経の周りに直接注射し、痛み止めを入れることがあります。



点滴の痛み止め

- 硬膜外麻酔以外にも、注射で使用できる痛み止めを数種類準備しています。中には、患者さんご自身でボタンを押して点滴の痛み止めを追加できるものもあります。

合併症について

歯牙損傷

- ぐらついている歯は、呼吸の管を入れるときに抜けてしまうことがあります。ぐらつく歯がある場合は、必ず担当医や担当麻酔科医にお知らせください。

- 術前に歯科受診が必要な場合もあります。ご理解のほどよろしくお願いします。

喉の痛み・かすれ

- 呼吸のチューブが喉に当たる影響で、術後に喉が痛くなることがあります。

- 多くの場合は2～3日で良くなりますが、それ以上続く場合は、担当医または担当看護師にご相談ください。

誤嚥性肺炎

- 麻酔をかけるとき、胃の中に食べ物が残っていると、食べ物が口まで逆流して、肺に入り、誤嚥性肺炎を引き起こすことがあります。これを防ぐために、一定の絶飲食時間を設けています。

- 手術前は絶飲食でお願いします。

神経障害

- 手術中にずっと同じ体勢をとるため、手足がしびれてしまうことがあります。
- 数カ月持続することもありますが、頻度はとても少ないです。

手術前のお願い

禁煙について

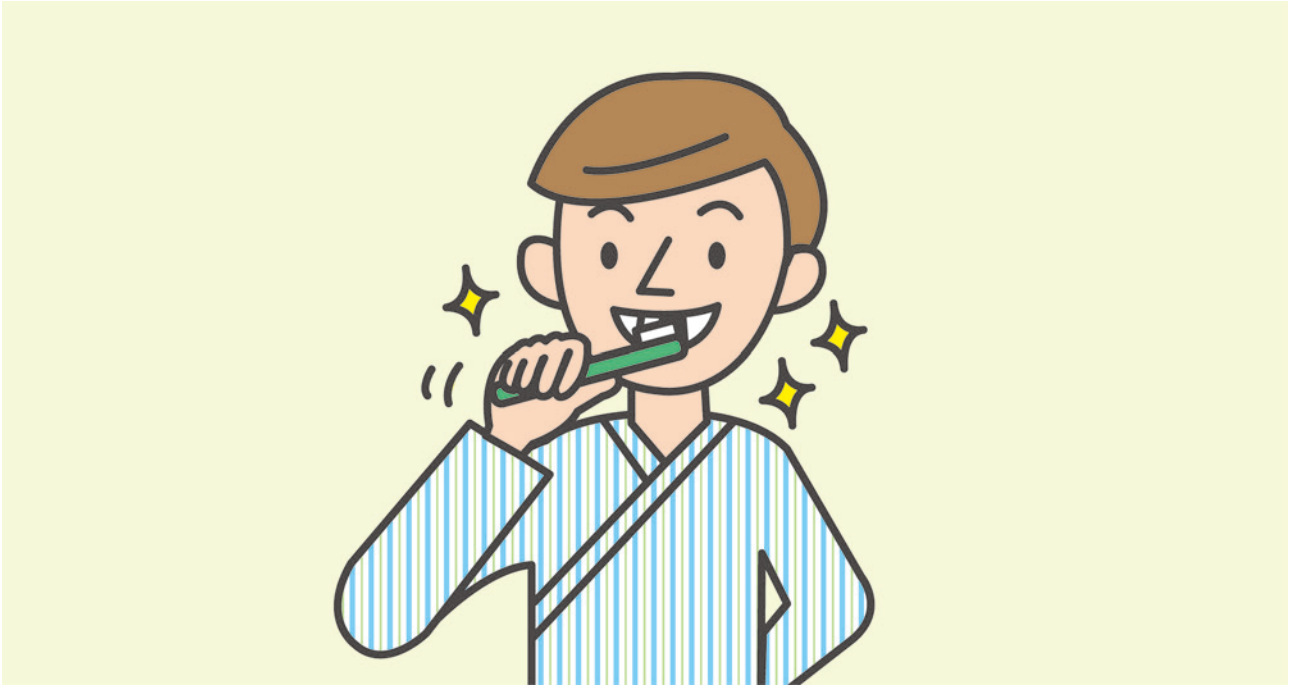
- 喫煙は術中の痰の分泌を増やし、人工呼吸中の肺に負担をかけます。また術後の傷の治りを悪くすることもわかっています。

- 手術前は、早い段階から禁煙していただきますようお願いします。

手術当日の歯磨き

- 呼吸のチューブを喉の奥に入れるため、口腔内の衛生環境が悪いと、術後の肺炎のリスクを上昇させてしまいます。

- 手術当日は、絶食の場合でも必ず歯磨きをしてください。忘れず行うようにしましょう。



さいごに

お渡しした麻酔の説明書を、
よくお読みください。
分かりにくい点がございましたら、
担当医や麻酔科医に
遠慮なくお尋ねください。